

平成29年度 文部科学省「全国学力・学習状況調査」結果について

文部科学省が本年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」結果が、平成29年8月28日に公表されたので、以下のとおり報告する。今後、教育委員会及び各学校は、墨田区学習状況調査結果とともに本調査の結果を基に、学力向上の取組を推進していく。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

更に、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査事項

(1) 児童・生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語及び算数、中学校調査は、国語及び数学である。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、次のとおりである。

1 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題 【国語A、算数A（中学校は数学A）】

2 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容（主として「活用」に関する問題）を中心とした出題 【国語B、算数B（中学校は数学B）】

(ウ) 出題形式については、記述式の問題が一定割合で導入されている。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童・生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

(2) 学校に対する調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

3 調査実施日及び調査対象等

(1) 調査実施日 平成29年4月18日（火）

(2) 調査対象 小学校第6学年及び中学校第3学年の原則として全児童・生徒

(3) 平成29年4月18日に調査を実施した学校及び児童・生徒数

校種	区分	対象学校数	実施学校数 (実施率)	受検児童・生徒数
小学校	墨田区(区立)	25校	25校 (100.0%)	1,479名
	全国(公立)	19,577校	19,456校 (99.4%)	999,723名
	全国(国立)	75校	75校 (100.0%)	6,390名
	全国(私立)	224校	114校 (50.9%)	6,468名
中学校	墨田区(区立)	10校	10校 (100.0%)	1,255名
	全国(公立)	9,628校	9,539校 (99.1%)	982,811名
	全国(国立)	80校	77校 (96.3%)	10,107名
	全国(私立)	759校	366校 (48.2%)	31,271名

4 調査結果（※本年度から、都道府県別の平均正答率は整数値のみ公表することになった。）

(1) 小学校第6学年

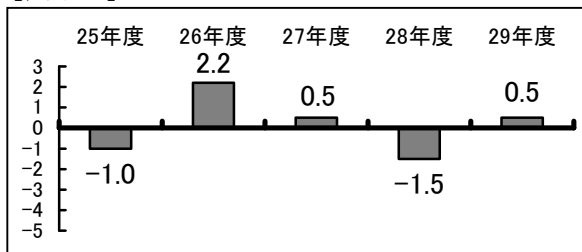
ア 平均正答率

(単位：%)

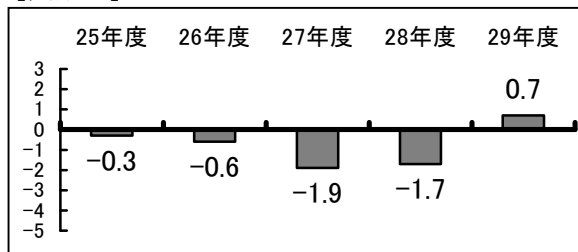
	国語A	国語B	算数A	算数B
墨田区（区立）	75.3	58.2	80.0	46.9
全国（公立）	74.8	57.5	78.6	45.9
【参考】 東京都（公立）	76	60	81	49

イ 全国（公立）の平均正答率を基準（0）としたときの、墨田区（区立）の平均正答率の推移

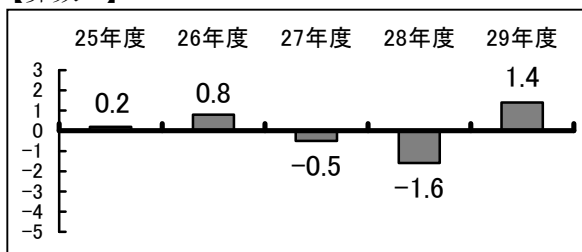
【国語A】



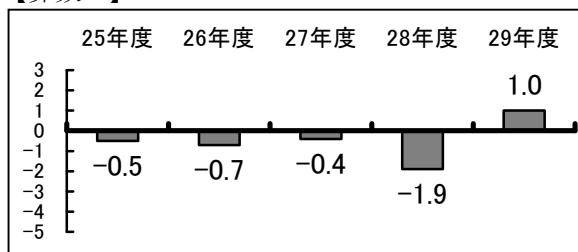
【国語B】



【算数A】



【算数B】



(2) 中学校第3学年

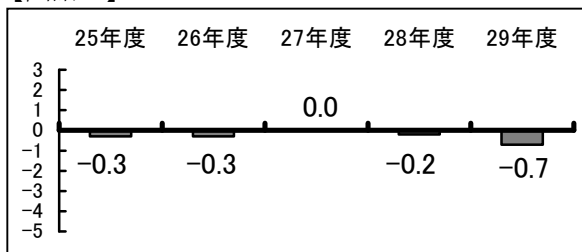
ア 平均正答率

(単位：%)

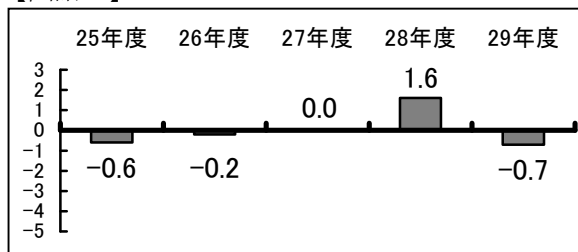
	国語A	国語B	数学A	数学B
墨田区（区立）	76.7	71.5	62.1	45.3
全国（公立）	77.4	72.2	64.6	48.1
【参考】 東京都（公立）	79	74	66	50

イ 全国（公立）の平均正答率を基準（0）としたときの、墨田区（区立）の平均正答率の推移

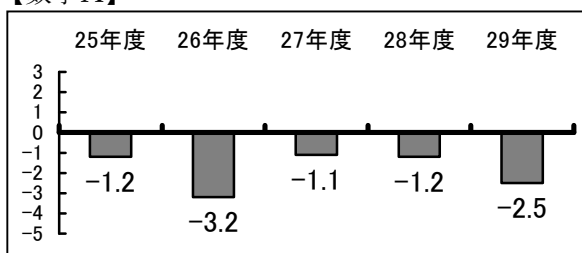
【国語A】



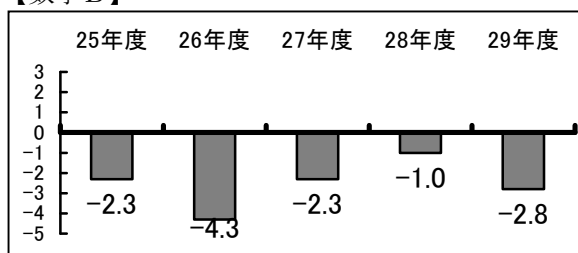
【国語B】



【数学A】



【数学B】



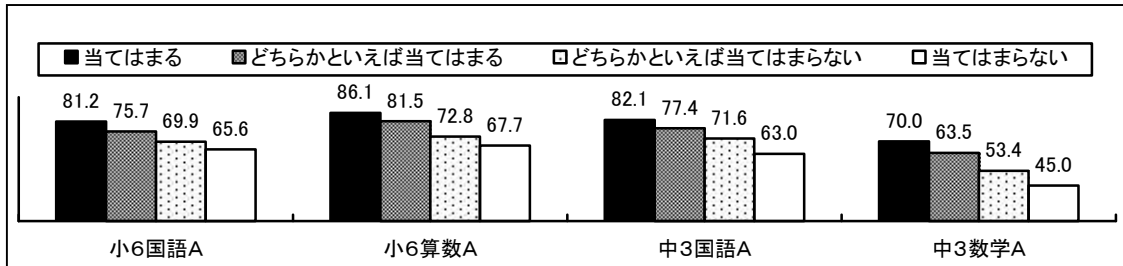
5 児童生徒質問紙調査結果

墨田区の児童・生徒の「教科に関する調査」結果とのクロス集計から、次のことが明らかになった。

- (1) 課題意識をもち、課題に対して自ら進んで取り組む児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い。

前の学年までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

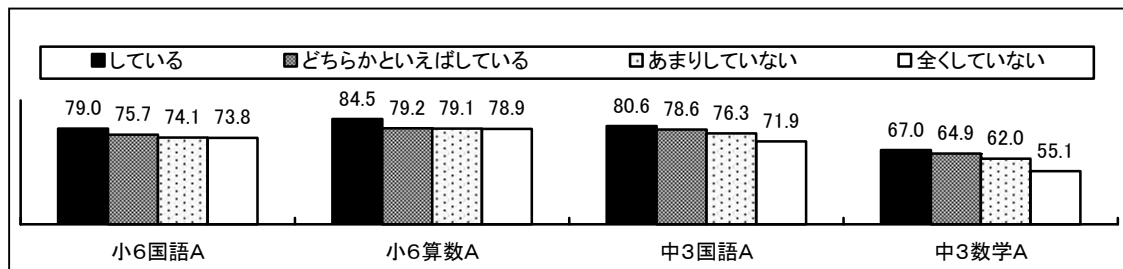
(選択肢ごとの墨田区の児童・生徒の平均正答率)



- (2) 学校で学習した内容を復習する児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い。

家で、学校の授業の復習をしていますか。

(選択肢ごとの墨田区の児童・生徒の平均正答率)



6 学校質問紙調査結果

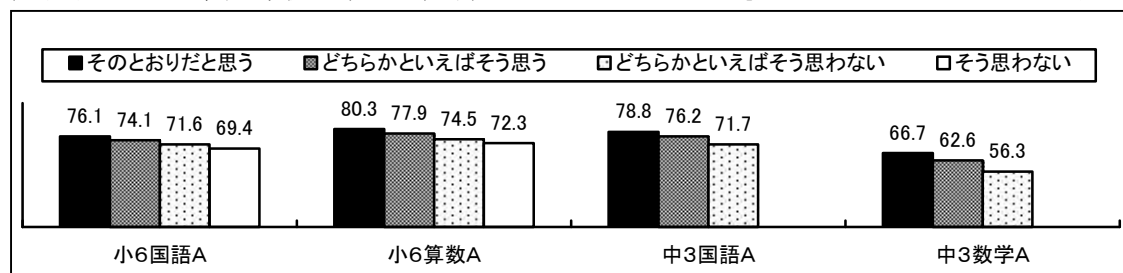
全国の学校の「教科に関する調査」結果とのクロス集計から、次のことが明らかになった。

- (1) 児童・生徒が落ち着いて授業を受けている学校ほど、教科の平均正答率が高い。

調査対象学年の児童・生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

(選択肢ごとの全国の学校の平均正答率)

※「そう思わない」と回答した中学校が0.5%未満のため、割愛。



- (2) 自校の学力の傾向や課題を教職員間で共有している学校ほど、教科の平均正答率が高い。

学校全体の学力の傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか。

(選択肢ごとの全国の学校の平均正答率)

※「ほとんどしていない」と回答した学校が0.5%未満のため、割愛。

